

前中村会長からバトンを受けて 働くことを軸とする安心社会をめざして



連合滋賀
会長 山田 清

新年あけましておめでとうございます。高退協に集われる会員の皆様には、輝かしい新春を迎えられたこととお喜び申し上げます。

日頃は、連合滋賀の活動に対しまして深いご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。昨年11月18日の第12回定期大会で、3期6年に亘り連合滋賀の会長として、ご尽力いただきました中村憲市会長からバトンタッチをいたしました。前中村会長と同様よろしくお願いいたします。

昨年3月11日の東日本大震災は、わが国観測史上、最大の地震と大津波。さらに福島第一原発の事故という、未曾有の複合的大災害となり、被災地はもとより、わが国の社会・経済に、深刻な影響を及ぼしました。今、被災地は深刻な雇用状況に陥っています。私たち連合は『働くことを軸とする安心社会』を標榜して運動を展開しています。働くことに、最も重要な価値を置き、誰もが働くことで社会に参加し、社会的にも、経済的にも自立し、人と人の絆が培われていく、安心社会をめざす理念は、今まさに被災地に求められています。職場・地域のコミュニティの再建を、日本全体で支えていくことが必要であります。

2003年小泉政権のもと、製造業への派遣労働が3年に延長されたのを契機に、雇用の流動化が一気に加速しました。現在は非正規労働者が、4割近くを占め、中でも年収200万円未満の給与所得者は、1000万人を超えています。この傾向が続けば、社会を支えるための税・社会保険料負担もままならない勤労者が増える一方であり、もはや社会的に許容しうる限度を超えているといえます。

2009年、私たちの悲願でありました民主党に、政権を変えることが出来ました。当時、閉塞感が漂う社会と経済状況の中で、多くの組合員は将来に希望を抱きました。しかし、前半の2年はリーマンショック後の景気対策、東日本の復旧・復興のための補正予算成立に追われ、民主党政権に期待していました「改正労働法」「公務員法の改正」「後期高齢者医療制度の改正」「社会保障と税の一体改革」などの重要課題がねじれ国会の状況下で先送りされた状態となっています。民主党は任期満了の2013年秋まで残された時間は少ないですが、この難局を越えるには強いリーダーシップを発揮し、国民の支持を拡大する以外にないと思います。

高退協の皆さんと連合滋賀が一体となって、この閉塞感が漂う社会を明るく先に希望がもてる社会にするため、共に、この1年頑張りましょう。



連合近ブロ高退会 2011「仁徳陵と古墳群めぐりハイキング」 みんなで元気にひと巡り!!

2011「仁徳陵と古墳群めぐり」ハイキングは、10月26日（水）に、出発式を堺市・大仙公園「催し広場」で行い、散策コースを世界遺産暫定登録された古墳めぐりのA、B、Cの3コースとし自由選択で行いました。

参加者合計は、2府4県で1,240名、滋賀からは80歳以上4名を含む73名で、彦根と大津からバス2台で参加しました。出発式の司会進行は、有元章博事務局長（大阪）が務め、三ッ木宣武代表幹事の主催者挨拶、来賓挨拶を受け、80歳以上の参加者表彰・記念品贈呈を行いました。

今回の参加者は約一割が80歳以上とな



【ボランティアガイドの説明を真剣に聞く参加者】



【出発式の各府県の代表者、右端が吉川会長】

っており、最高年齢者は京都から参加された91歳で、まだまだ足腰もしっかりされた方でした。

開催日は、前日までの気温より少し冷え込んだ朝で少し肌寒くなりましたが、

秋空のもと絶好のハイキング日和となり、各3~4kmのコースに分かれて各々スタートしましたが、少し汗ばむぐらいでした。

コースの誘導等は、連合大阪の現役役員等がスタッフとして行っていただき、安全かつスムーズな散策ができ、全員が無事に終了することができました。

女性代議員を増やしての総会! 〈近ブロ第18回定期総会〉

連合近畿地方ブロック高齢・退職者連絡会第18回定期総会は、2011年10月13日（木）に、ろうきん肥後橋ビルメインホールにおいて、近畿2府4県の退職者組織から役員・代議員など144人が出席し開催されました。

第1部では、退職者連合の阿部保吉会長から「退職者連合の課題と取り組み」を

テーマに記念講演が行われました。今総会からは女性代議員を増やしての開催となりましたが、活発な質問意見が出されて有意義な講演となりました。

第2部の第18回定期総会では、「報告事項」「活動方針」「役員選出」など全ての議案が満場一致で可決されました。